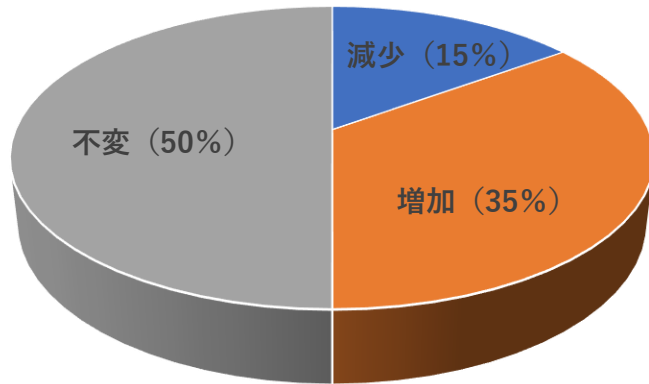


令和5年度景況調査

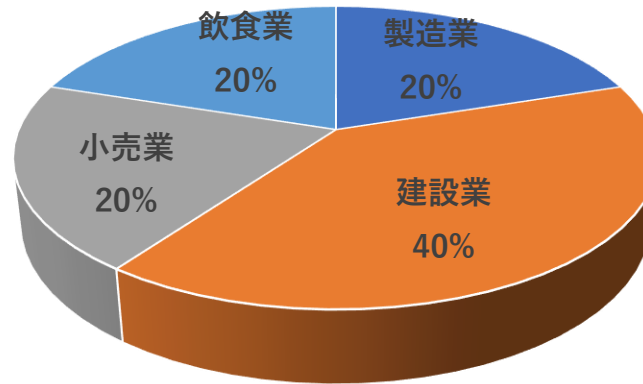
第四四半期(1月～3月)

# ①調査結果

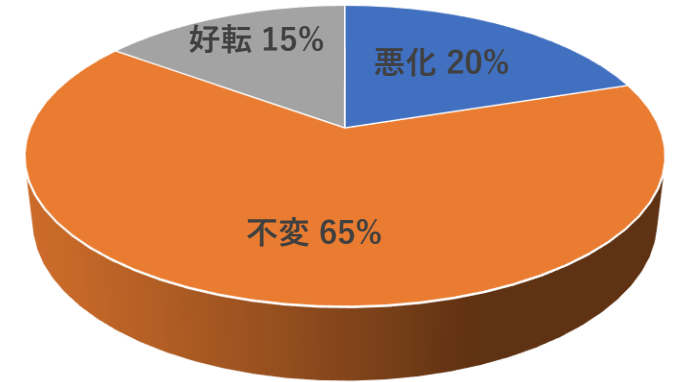
売上高の状況（前年同期比）



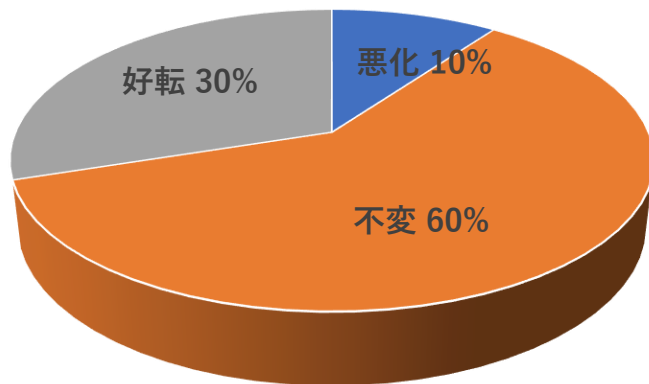
売上高が増加した業種割合



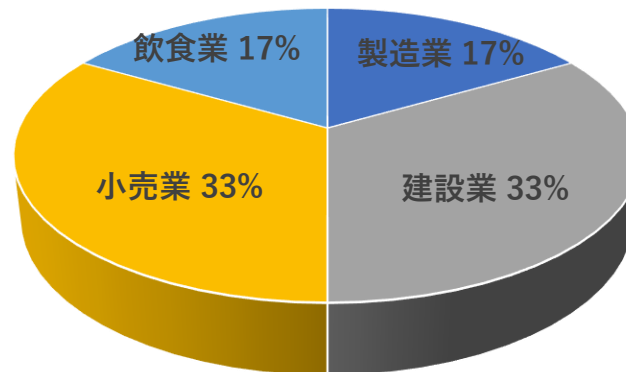
前年比経常利益の状況



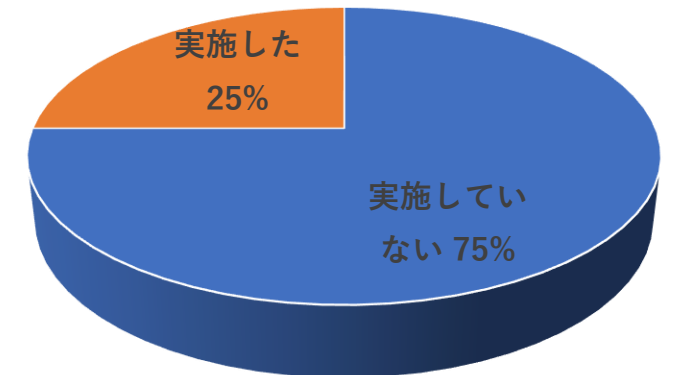
自社業況の状況



業況が好転した業種割合



設備投資の実施状況



## ②分析結果

まず前年同期比の売上高については、20社のうち7社（35%）が増加、10社（50%）が不変と回答しており、8割以上の事業者については売上低下に歯止めがかかっている状況です。

また、売上が増加した事業所のうち4割が建設業が占めているほか、業況が好転した事業所のうち3割以上を建設業が占めており、今期は建設業が全般的に好調であったことが窺えます。

次に経常利益について「好転した」と回答した事業者は15%ほどに留まり、依然として原材料価格の高止まりが続いているものと思われる。

設備投資の実施については、全体の25%の事業者が実施するに留まっており、昨今の厳しい経営環境の中で現状に変化を加えていくことは難しい状況にあることが分かります。